

## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	地域暮らしの安全学C (Safety Science of life and Community C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	大西 敏夫、金川 めぐみ、中島 正博、鈴木 裕範、岡田 真理子、澤田 知樹		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	10月4日(土) 13:00~17:00	担当: 大西 敏夫	
	10月18日(土) 13:00~17:00	担当: 中島 正博	
	10月25日(土) 13:00~17:00	担当: 澤田 知樹	
	11月8日(土) 13:00~17:00	担当: 金川 めぐみ	
	11月15日(土) 13:00~17:00	担当: 岡田 真理子	
	11月29日(土) 13:00~17:00	担当: 鈴木 裕範	
<b>【講義概要】</b>			
暮らしの中にはさまざまな危険が存在します。この講義では、暮らしの中の生活や経済活動でのリスクに焦点をあてて地域のことを考察します。経済の変化への対応を理解することを目標に、個別課題をテーマ化して学習します。			
<b>【授業計画】</b>			
1回目「TPPの農業への影響と食の安全・安心」大西 敏夫 (経済学部) TPPの和歌山農業への影響と食の安全・安心システムについて考えます。			
2回目「地域・社会の安全・安心を支える税」中島 正博 (経済学部) 地域や社会の安全・安心のためにはたすべき、租税の機能と役割について考えます。			
3回目「家庭内暴力と弱者保護についての新たな提言」澤田 知樹 (観光学部) 家庭内暴力に対する従来の認識の不適切なところを指摘し、被害者救済のための新たな制度の創設を提案する。			
4回目「暮らしの安全を支える社会福祉のあり方とは」金川 めぐみ (経済学部) 障がい者、子ども、高齢者などの生活を支える社会福祉サービスについて考えます。			
5回目「地域が抱える雇用問題」岡田 真理子 (経済学部) 近畿および和歌山が抱える雇用問題を他地域事例との比較から考えます。			
6回目「失われる地域のコミュニティの拠点」鈴木 裕範 (非常勤講師) 廃校舎の増加、商店街のシャッター化が招くコミュニティの危機について考えます。			
<b>【到達目標】</b>			
暮らしの中の生活と経済活動のリスクについて、最新事例とともに理解する。			
<b>【教科書・教材】</b>			
なし。必要に応じて資料を配布します。			
<b>【参考書】</b>			
なし。必要に応じて講義中に紹介します。			
<b>【授業時間外学習】</b>			
準備学習と授業内容に関連する課題に関する調査・考察に自主的に学習することが必要です。			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
経済学に関する基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。			